



JP5056139

Biblio

Page 1

**esp@cenet****SPEECH RECORDING TELEPHONE SET**

Patent Number: JP5056139  
Publication date: 1993-03-05  
Inventor(s): HANAZAKI SADAHITO  
Applicant(s):: MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD  
Requested Patent: ☐ JP5056139  
Application Number: JP19910232447 19910821  
Priority Number(s):  
IPC Classification: H04M1/65 ; H04M1/27  
EC Classification:  
Equivalents:

**Abstract**

**PURPOSE:** To provide a speech recording telephone set which records a speech content at previously set time and terminates it after lapse of previously set time without manual operation.

**CONSTITUTION:** Desired recording start time and time when recording is to be terminated are set in a time storage part 5. A time comparison part 7 compares time in a clock part 6 with recording start time. When they coincide, a call is automatically made by using a telephone number stored in a telephone number storage part 4 and the speech content is recorded in a call recording part 3. The recording is stopped by coincident output obtained by comparing time in the clock part 6 with recording termination time which is set in the time storage part 5 in the time comparison part 7.

Data supplied from the esp@cenet database - I2

BEST AVAILABLE COPY

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-56139

(43)公開日 平成5年(1993)3月5日

(51)Int.Cl.<sup>1</sup>H 0 4 M 1/65  
1/27

職別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

H 7190-5K  
7190-5K

審査請求 未請求 請求項の数1(全 4 頁)

(21)出願番号 特願平3-232447

(22)出願日 平成3年(1991)8月21日

(71)出願人 000005821

松下電器産業株式会社  
大阪府門真市大字門真1006番地

(72)発明者 花▲崎▼ 禎人

神奈川県横浜市港北区綱島東四丁目3番1  
号 松下通信工業株式会社内

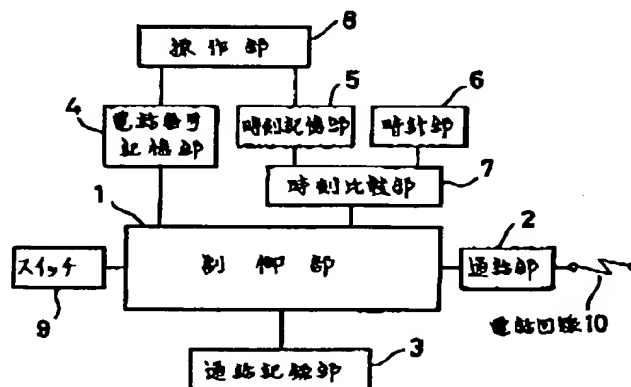
(74)代理人 弁理士 飯田 元敏

(54)【発明の名称】 通話記録電話機

(57)【要約】

【目的】 人手を借りることなく、予め設定した時刻に通話内容を録音させ、設定した時間後に終了させる通話記録電話機を提供する。

【構成】 時刻記憶部5に希望する録音開始時刻、及び録音を終了させたい時刻を設定しておき、時刻比較部7において時計部6の時刻と録音開始時刻を比較させ、それが一致したとき電話番号記憶部4に記憶させてある電話番号を利用して自動発呼し、その通話内容を通話記録部3に録音させ、その録音は時刻比較部7において、時計部6の時刻と時刻記憶部5に設定した録音終了時刻とを比較した一致出力によって停止させる。



1

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 電話番号を記憶させる電話番号記憶部と、該電話番号記憶部から電話番号を読み出して自動発呼する操作部と、通話の録音開始時刻と終了時刻を予め記憶する時刻記憶部と、該時刻記憶部に記憶した時刻を時計部の現在時刻と比較する時刻比較部と、通話音声録音する通話記録部とを設け、前記時刻比較部が前記時刻記憶部に記憶された録音開始時刻と現在時刻の一致を検出したとき、前記電話番号記憶部に記憶された電話番号に自動発呼し、該電話番号に対する応答音声を前記通話記録部に録音させ、その録音停止を、前記電話番号記憶部に記憶させた終了時刻と時計部の時刻とを比較した一致情報によって行なわせることを特徴とする通話記録電話機。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、通話内容を録音することが可能な通話記録電話機に関する。

## 【0002】

【従来の技術】 従来の通話内容が録音できる電話機は、人手によって相手電話機にダイヤルし、録音の開始、または終了も手動操作しなければならなかった。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】 そのため、人手によって相手電話機にダイヤルしなければならない煩雑さは勿論、録音の開始、または終了も手動操作するための面倒さや、録音または停止の操作忘れや操作遅れなどを生じて、重要な録音に失敗するような取返しのつかないような大きい問題点があった。

【0004】 本発明は上記従来の通話内容を録音する電話機の問題点に鑑み、あらかじめ、相手の電話番号と、録音する時刻、及び、録音を終了させたい時刻を入力しておくことによって、自動的に通話内容が録音される通話記録電話機の提供を目的とする。

## 【0005】

【課題を解決するための手段】 本発明は、電話番号を記憶させる電話番号記憶部と、該電話番号記憶部から電話番号を読み出して自動発呼する操作部と、通話の録音開始時刻と終了時刻を予め記憶する時刻記憶部と、該時刻記憶部に記憶した時刻を時計部の現在時刻と比較する時刻比較部と、通話音声録音する通話記録部とを設け、前記時刻比較部が前記時刻記憶部に記憶された録音開始時刻と現在時刻の一致を検出したとき、前記電話番号記憶部に記憶された電話番号に自動発呼し、該電話番号に対する応答音声を前記通話記録部に録音させ、その録音停止を、前記電話番号記憶部に記憶させた終了時刻と時計部の時刻とを比較した一致情報により行なわせることを特徴とする。

## 【0006】

【作用】 本発明によれば、あらかじめ記憶した時刻にな

(2)

特開平5-56139

2

ると記憶させてある電話番号の相手に発呼されるとともに、相手の音声が自動的に録音され、その録音は、あらかじめ記憶させてある時刻が来ると自動的に停止されるようになっているので、人手を要せず自動的に、設定した相手電話の音声の録音が、設定した時刻及び終了時刻の間でできる。

## 【0007】

【実施例】 以下、本発明の通話記録電話機の実施例を図面を用いて説明する。

10 【0008】 図1は本発明の一実施例の構成を示すブロック図で、1は全体の制御を行なう制御部、2は通話を行なう通話部、3は通話の内容を録音する通話記録部、4は、かけたい電話番号を記憶する電話番号記憶部、5は録音動作の開始時刻と終了時刻を記憶する時刻記憶部、6は時計部、7は時刻記憶部5に記憶されている時刻と時計部6の時刻との比較を行なう時刻比較部、8は電話番号記憶部4と時刻記憶部5にデータの入力を行なう操作部、9は録音するか否かを選択するスイッチ、10は電話回線である。

20 【0009】 図2は図1の動作フローチャートであり、以下これを参照して動作ステップをSと略記して動作を説明する。

【0010】 まず、自動録音を行なわせるには、始めに操作部8によって電話番号記憶部4に、自動録音を行なう電話機の番号を記憶させるとともに、自動録音の開始時刻及び終了時刻を時刻記憶部5に記憶させる。

【0011】 時刻比較部7は時計部6の時刻と時刻記憶部5に記憶されている録音開始時刻とを比較し(S1)、時計部6の時刻が上記設定した録音開始時刻に一致すると時刻比較部7は、その一致出力を制御部1に入力させ、それによりスイッチ9が通話の録音を行なう動作を選択しているかどうかを判断し(S2)、選択していないときは(S2・N)再びS1に戻る。

【0012】 スイッチ9で自動録音動作が選択されているときは(S2・Y)、電話番号記憶部4に記憶されている電話番号を呼出し(S3)、通話部2を経て上記、呼出した電話番号を用いて自動発呼させ、通話を開始する(S4)。次に通話記録部3に対して通話内容の録音を開始する制御を行なわせる(S5)。

40 【0013】 このような一連の手順によって、電話回線10、通話部2を通じて受信された天気予報などの電話サービス等の音声は通話記録部3に録音される。

【0014】 次に、時刻比較部7で時刻記憶部5に記憶されている動作終了時刻と、時計部6の時刻との比較を行ない(S6)、時計部6の時刻が動作終了時刻に一致すると、時刻比較部7はその一致情報を制御部1に通知する。それにより制御部1は通話記録部3に対して録音停止の制御を行わせ(S7)、通話部2に対して通話終了の制御を行なわせる(S8)。

50 【0015】 通話内容の録音の停止と、通話終了の制御

(3)

特開平5-56139

3

が終了すると、再び時刻記憶部5に記憶されている動作開始時刻と時計部6の時刻の比較に戻る(31)。

【0016】

【発明の効果】以上、説明したように本発明の通話記録電話機は、予め記憶させた録音開始時刻に、これも予め記憶させてある電話番号を自動発呼して、その通話内容を録音させ、その録音は記憶させた終了時刻の到来によって終了させる構成であり、従来の通話を録音する電話機に有していた人手でダイヤル等を行なわなければならない一番の不便さが解消される。これは、たとえば、毎日定期的に天気予報サービスを録音するようなルーチン\*

4

\* 的な録音は極めて便利になると同時に、録音忘れ、録音遅れ等が生じなくなる。

【図面の簡単な説明】

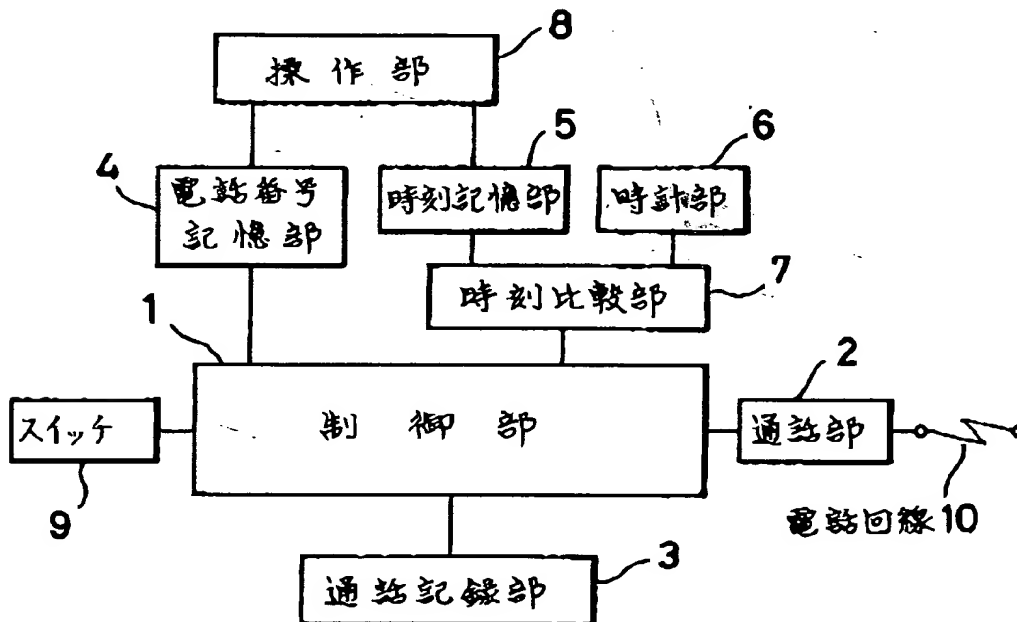
【図1】本発明の通話記録電話機の一実施例の構成を示すブロック図である。

【図2】同1の動作フローチャートである。

【符号の説明】

1…制御部、 2…通話部、 3…通話記録部、 4…電話番号記憶部、 5…時刻記憶部、 6…時計部、 7…時刻比較部、 8…操作部、 9…スイッチ、 10…電話回線。

【図1】

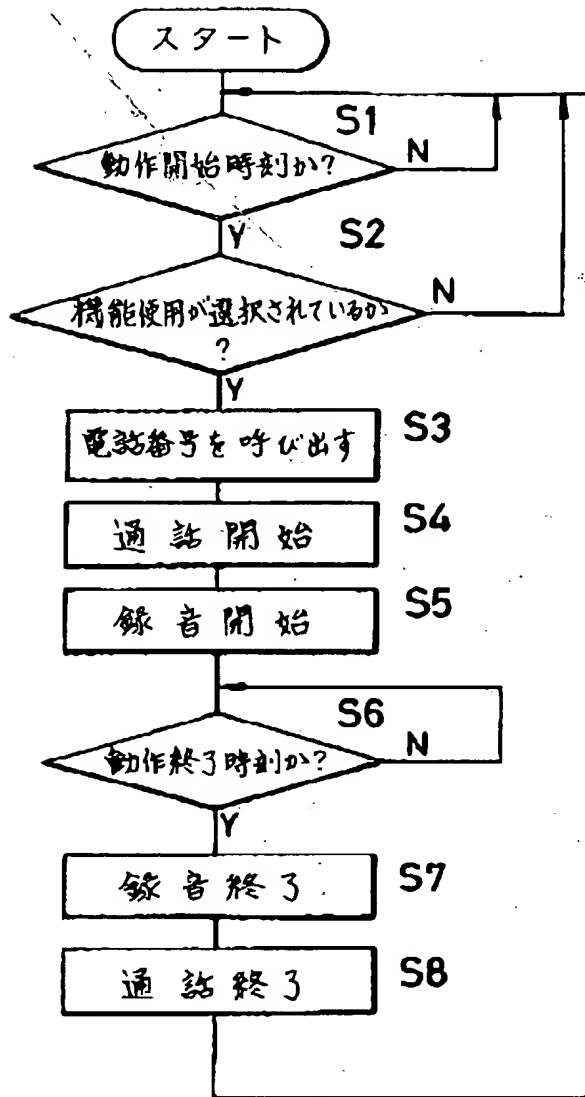


BEST AVAILABLE COPY

(4)

特開平5-6613

【図2】



BEST AVAILABLE COPY